

平成 25 年度若穂公民館運営審議会開催概要

- 1 日 時 平成 25 年 6 月 26 日 (水) 午後 2 時から午後 4 時 30 分
- 2 場 所 若穂公民館 2 階 会議室
- 3 出席者 運営審議会委員 7 名 事務局 2 名
- 4 会長選任 委員の互選により以下のとおり決定した
委員長 戸井田 一成 委員 同職務代理者 西沢 清子 委員

5 協議事項

- (1) 平成 24 年度公民館事業報告について
- (2) 平成 25 年度公民館事業概要について
- (3) その他

6 議事概要

○協議事項

(1)及び(2)について資料により事務局から説明

○質疑等

委員 ノルディックウォーキング講座の参加者が少なかったが何か理由があるのか？

事務局 春・秋の 2 回開講して 3 年目になるため、コースがある程度同じようなものになってしまっているのも原因かと思う。これまでは公民館発着で実施してきたが、今後は出発点を公民館以外に設定し新たなコース設定を行う等何とか工夫をしていきたい。

委員 とびっくラン in わかほについては、ボランティアの皆さんの力もあって実施できたすばらしい大会だったと思う。今年も実施を予定しているが、この 2 回目が今後も継続していく上で大切になってくると思う。

委員 同感だ。手作り感のあるマラソン大会であり、とても良かったと思う。今後は、地元の中学生も選手・ボランティア等に関われれば良いなと思う。

委員 今後は長野電鉄屋代線の線路敷跡等の利用も考えられる。日程も固定できれば良いが。

委員 社会体育事業の学生の参加状況は？

事務局 球技大会は学生の参加を認めていない。市民運動会・冬季体育デーについては、種目により参加が認められている状況である。

委員 学生については、地元の大会でもあるのでなるべく参加させたいと思っている。

委員 地元との関わりを持つ機会を設けることも大切だと思う。現在参加が認められていない種目についても、参加が可能かどうか検討してみても良いのではないか。

- 委員 今年度連携講座を開講するとあるが、他の地区はどこなのか？
- 事務局 大岡・信州新町・戸隠・中条・鬼無里で若穂が最終回の6回目になる。
- 委員 地元にいる各分野の長けた方に講師をお願いするのは、大変良いことである。
- 委員 公民館の活動の中で、若穂地区の特徴みたいなものは何かあるか？
- 事務局 一度公民館活動に参加すると、その後も興味を持って見ていただいているようで、色々な講座に参加している傾向が見られる。その意味では、とにかく一度公民館に足を運んでいただくことが大事だと感じている。
- 委員 それこそ地域の特性「まつばり」が現れているのでは。素直な面も現れていると思う。
- 委員 子どもたちが集まる場所があれば良いなと感じている。東京では中学生が公民館活動の企画に参加しているところがあると聞いた。そういう活動も参考に出来たらと思う。
- 委員 今年度の講座に川田宿ガイド養成講座があるが、様子はどうだったのか。
- 事務局 近年、史跡としての川田宿を訪れる人が増えてきたが、案内をするものがない現状の中、訪れた人に良さを理解してもらうため、川田宿及び近隣の歴史を学び川田宿を案内するガイドを養成するための講座を開講した。参加者は23人に上り、皆さん本当に熱意を持って取組んでいただき、講座終了後もガイドの会を結成し、現在活動に向け準備中であり、7月上旬には早速ガイドの依頼も入っている状況である。川田宿に限らず、若穂の他地区のガイドも養成したらどうかという意見もあった。
- 委員 とても良いことだと思う。松代のガイドも体験したが、若穂でも実現できれば素晴らしいことだと思う。
- 委員 郷土愛を育むためにも、地元の歴史や文化をしっかりと学ぶことは大変重要なことだと思う。
- 委員 郷土を愛するという面では、子どもの時の体験も大きな影響を与えていると思う。その意味では、子どもたちの地域との関わりを大切にしなければいけないと感じている。
- 事務局 色々なご意見をいただいたので、今後の活動に際し、参考にさせていただきたい。